

## 第14回 日本炎症性腸疾患学会学術集会に参加して

2023年12月1日（金）2日（土）に、シーサイドホテル舞子ビラ神戸において開催された第14回日本炎症性腸疾患学会学術集会に秀島理事長（佐賀 IBD 縁笑会）、前川さん（名古屋 IBD）、松村（大阪 IBD）が参加し、IBD 患者会としてブースの設置も行ったので報告します。

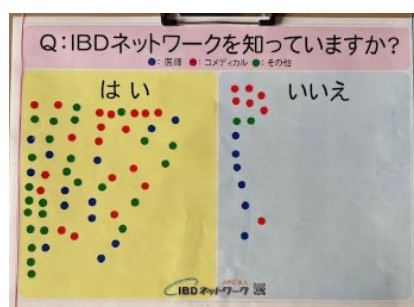
学会のテーマは、「内科と外科の架け橋～最適な IBD 治療の連携を目指して～」でした。

朝8時からのモーニングセミナーから始まり4会場でシンポジウムやパネルディスカッションなど発表が夕方まで行われました。少し難しい内容なども多々あり頭パンパンでしたが、渡辺憲治先生（富山大学）の「IBD診療における患者医師間のコミュニケーション：エビデンスより大事かも！？」という発表では、IBD ネットワーク患者会ブースのご紹介を口頭でしていただき、IBD ネットワーク



のスライドを用意されてご紹介いただきました。朝一からのサプライズで、目が覚めたのと感動でした。これは地道に患者会活動を行っている、地域の患者会（富山 IBD）の尽力のままものです。感謝です。講演が終わって、先生にお礼とご挨拶を秀島理事長としました。

ブースの設置では、「IBD ネットワークを知っていますか？」というアンケートを実施しました。参加者72名 はい：57名（内訳 医師12名、コメディカル19名、その他26名） いいえ：15名（内訳 医師6名、コメディカル7名、その他2名）でした。予想を超えた「知っている」という反応にうれしいやら、また知らない方に知っていただく機会を持つことができました。



5月19日のIBD を理解する日の啓発運動で作成したマスクカバーと付箋も好評でした。



協賛企業の方とも名刺交換をして、交流することもできました。またご家族の方が IBD で悩みを持っている方もブースに立ち寄っていただけました。

これからも患者が参加できる学会を目指して、活動していこうと思います。（松村 依美子）